



年頭あいさつ



新年あけまして
おめでとう
ございます



連合鳥取

会長 本川 博孝



大山まきはみるくの里 (伯耆町) ©鳥取県

昨年は、新型コロナウイルス拡大の影響で、様々な会議、学習会、集会などの開催が困難となり、活発な議論を行うことができず、十分な取り組みができなかったにもかかわらず、連合鳥取の運動にご協力いただきました、すべてに感謝申し上げます。

コロナ禍という中で、雇用不安や生活不安の中で日々を過ごす労働者や生活者が増えました。とりわけ、解雇や雇用調整の対象となりやすい、パート労働者や派遣労働者など曖昧な雇用で働く労働者をはじめ、子どもたちや高齢者など弱い立場の人たちの生活が困窮し不安を抱えたままの生活を余儀なくされています。

この危機的な事態は、子育て、教育、医療、年金、福祉、労働など、社会のセーフティネットの脆弱さを浮き彫りにし、政治、経済、社会保障政策などが、私たち労働者・生活者に向けられていない事を改めて実感することになりました。

今必要なことは、一日も早く感染拡大を止め、労働者・生活者の視点での経済成長を実現することです。誰もが安心して働き続けられる環境を整えることです。

そして、これまでの価値観にとら

われることなく、雇用対策、生活支援対策、教育対策、財政・税制政策、さらに、家族の在り様、他者への理解など、コロナ後の私たちの暮らしのあり様を考えなくてはなりません。

雇用や生活に不満が渦巻いている今こそ、労働組合が労働者・生活者の頼りになる存在として積極的に行動し、その期待に応えていかなければなりません。

当面する課題は、2021年春季生活闘争では、2014年からの賃上げを継続させ、すべての労働者・生活者の暮らしの「底上げ」「底支え」「格差是正」を達成すること、そして、第49回衆議院選挙で、連合鳥取推薦予定候補者「湯原俊二」さんの必勝に向けた取り組みです。

**「私たちが未来を変える
安心社会に向けて」**

一人ひとりが自らの生活と、政治との繋がりを意識し、積極的に運動を進めていかなければなりません。

連合鳥取は、労働者・生活者の拠り所として、その力を結集し、さらなる運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。

組合員みなさんの結集をお願いします。新年のあいさつとします。

第92回メーデーポスター図案募集

- ①すべての働く仲間が結集した「働くことを軸とする安心社会」の実現。
②支え合い、助け合いを基本とした社会のうねり呼び起こす運動の推進。
③「誰一人取り残されることのない」社会の実現。
④NGO・NPO等の諸団体とのつながりや共感。

《対象》連合組合員とその家族、連合組合員のOB・OG(退職者含む)

《締切》2021年2月18日(木) 連合本部必着

詳しくは [連合7つの絆](#) [メーデー](#) [検索](#)

東・中・西部地域協議会&女性委員会・青年委員会定期総会で 新年度スタート!

東部地協「第27回定期総会」:
12月2日(水)/白兔会館



挙手で承認する代議員



団結してガンバロー!

中部地協「第26回定期総会」:
12月4日(金)/倉吉未来中心



議長団あいさつの様子



団結用意!

西部地協「第26回定期総会」:
12月2日(水)/米子コンベンションセンター



会場の様子



ガンバロー!

ガンバロー!

女性委員会「第25回定期総会」 「学習会」: 12月12日(土)/倉吉交流プラザ

◇「第25回定期総会」

昨年の定期総会で、澤田陽子連合鳥取副会長が女性委員会委員長に就任し、この1年間、活動を展開してきましたが、本定期総会で、寺田真里新委員長(全労金)が選出されました。



澤田委員長あいさつ



就任あいさつする寺田委員長

◇「学習会」

(株)インタープロス代表取締役の竹上順子さんを講師に「ソーシャル・スタイル」と題した講演を受けました。日頃の人との関わり方や考え方を振り返り、自分自身が4つ(コントローラー・プロモーター・サポーター・アナライザー)のどのタイプになるか判断し、職場でのコミュニケーション等に活かしていくことを学びました。



学習会講師/
竹上代表取締役

青年委員会「第30回定期総会」:
12月13日(日)/倉吉未来中心



山本委員長あいさつ



拍手で承認する代議員

2021 連合鳥取任務機構 - 「第1回執行委員会 (2020.12.17) 確認」 -



会 長	本川 博孝														(◎局長 ○事務局)
副 会 長	澤田 陽子	林 大介	井上 匡央	飯國 永睦											
事務局 長	田中 穂														
副事務局 長	江口 真也	吉田 正	松本 善樹	佐貫 馨											
企画委員会	◎澤田 (オブ)	林 江口	井上 吉田	飯國 松本	◎田中 穂	山口 佐貫	森本 村尾	坂本 矢田							
総 務 局	◎田中 穂														
組 織 局	◎山口	林	井上	田中 穂	◎江口	◎吉田	松本 佐貫	森本 垣屋	船岡 長屋	山崎 矢田					
非正規労働センター (組織局と同じ)	◎林	川口	石原	寺田	村尾	佐貫	山口	森本	垣屋	高橋	矢田	鈴木 苗村	森		
中小労働局	◎林	田中 穂	◎江口	◎吉田	松本	佐貫	山口	森本	垣屋	高橋	矢田	鈴木 苗村	森		
中小共同センター															
国民運動局	◎井上	田中 穂	◎江口	吉田	松本	佐貫	山口	垣屋	谷本	安藤	和泉	山崎 田中文	山中		
広報・教育局	◎森本	飯國	田中 穂	◎江口	◎吉田	松本 佐貫	谷本	船岡	安藤	和泉	高橋	金田 鈴木			
男女平等局	◎澤田	田中文	安養寺	小西 森	山本	寺田	松本	佐貫	谷本	船岡	長屋	金田 鈴木	苗村		
労働政策局	◎飯國	川口	安養寺	石原	小西 森	寺田	山本	松本	佐貫	山口	長屋	安藤	山崎 高橋		
政治センター	◎本川	澤田	林	井上	飯國	◎田中 穂	江口	吉田	坂本	佐貫	山口	森本	垣屋 谷本		
青年委員会	委員長/山本	副委員長/小坂	小谷	谷本	事務局 長/堀尾										
女性委員会	委員長/寺田	副委員長/小田川	中嶋	事務局 長/中山											
地域協議会	東部地協	議長/村尾	事務局 長/吉田	中部地協	議長/坂本	事務局 長/松本									
	西部地協	議長/矢田	事務局 長/佐貫												

本年もどうぞ
よろしく
お願いします

※各地協事務局長は連合鳥取副事務局長と兼任

連合2021春季生活闘争方針（骨子） （第84回中央委員会／2020.12.1より）

～誰もが希望を持てる社会を実現！安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で～

- 【概要】
- 2021 春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合として、社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争である。
 - 日本の抱える構造課題に加え、コロナ禍によって明らかとなった社会の脆弱さも克服していく必要がある。
 - 感染症対策とともに経済を再生していくため、雇用の確保を大前提に、社会全体で雇用を維持・創出すると同時に、「底上げ」「底支え」による所得の向上と社会基盤を支える中小企業や有期・短時間・契約等労働者の「格差是正」を実現することで、将来不安を払拭し、個人消費を喚起し、内需を拡大させていく。
 - 誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備と分配構造の転換につながり得る賃上げに取り組み、「感染症対策と経済の自律的成長」の両立と「社会の持続性」の実現をめざす。
 - 労働基本権にこだわる闘争の展開をはかる。

＜具体的な要求項目＞

◆賃上げ要求

1. 月例賃金

- ① 月例賃金の絶対額にこだわり、賃上げに取り組み。
- ② 定期昇給相当（賃金カーブ維持相当分（2%）の確保を大前提に、産業の「底支え」「格差是正」のため「賃金水準追求」の取り組み強化と、最大限の「底上げ」に取り組み、2%程度の賃上げを実現し、感染症対策と経済の自律的成長の両立をめざす。
- ③ 企業内すべての労働者の生活の安心・安定と産業の公正基準を担保する実効性を高めるため、企業内最低賃金の協定化に取り組み。

2. 中小組合の取り組み（規模間格差是正）

- ① 賃金カーブ維持分は、労働力の価値の保障による勤労意欲を維持する役割と同時に、生活水準保障でもあり必ずこれを確保する。賃金カーブ維持に重要な役割を果たす定期昇給制度がない組合は、人事・賃金制度の確立を視野に入れ、労使での検討委員会などを設置して協議を進めつつ、定期昇給制度の確立に取り組み。
- ② 賃金カーブ維持相当分（1年・1歳間差）を確保した上で、自組合の賃金の水準の総額で賃金引き上げを求める。
- ③ 賃金実態が把握できない場合は、連合加盟中小組合の平均賃金水準（約25万円）と賃金カーブ維持分（1年・1歳間差）をベースとして組み立て、賃金カーブ維持分（4,500円）の確保を大前提に、連合加盟組合平均水準の2%相当額との差額を上乘せた金額6,000円を賃上げ目標とし、総額10,500円以上を目安に賃上げを求める。

3. 雇用形態間格差是正の取り組み

- ① 有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保のため、企業内のすべての労働者を対象とし、時給1,100円以上の企業内最低賃金協定の締結をめざす。
- ② 有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へ引き上げのため、昇給ルール（制度設計：勤続年数で賃金カーブを描き、「勤続17年相当で時給1,700円・月給280,500円以上」）の導入に取り組み。

4. 男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正の取り組み

- ① 賃金データにもとづき男女別・年齢ごとの賃金分布を「見える化」し、賃金格差につながる要因を改善する。

- ② 生活関連手当（福利厚生、家族手当など）の支給における住民票上の「世帯主」要件および「証明書類の提出」の廃止を求める。

5. 初任給等の取り組み

- ① 初任給について社会水準を確保する。
18歳高卒初任給の参考目標値……175,400円
- ② 中途入社者賃金の「底支え」のため、年齢別最低到達水準の協定締結をめざす。

6. 一時金

- ① 月例賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含め水準の向上・確保をはかる。
- ② 有期・短時間・契約等で働く労働者についても、均等待遇・均衡待遇の観点から対応をはかる。

◆「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

1. 長時間労働の是正

2. すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み

3. 職場における均等待遇実現に向けた取り組み

2021年4月から「同一労働同一賃金」の法規定が完全施行されるため、すべての労働組合は、職場の有期・短時間・派遣労働者の労働組合への加入の有無を問わず取り組み、無期転換労働者についても、法の趣旨にもとづき同様の取り組みを進める。

4. 60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み

5. テレワーク導入に向けた労働組合の取り組み

6. 人材育成と教育訓練の充実

7. 中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備

8. 障がい者雇用に関する取り組み

9. 短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大に関する取り組み

10. 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

◆ジェンダー平等・多様性の推進

1. 改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動

2. あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み

3. 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備

4. 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

産別リレー

森林労連全国林野関連労働組合近畿中国地方本部鳥取森林管理署分会



森林労連
におじゃまして

連合鳥取にご参集のみなさん、日々のご活躍ご苦勞様です。

私たちは、森林労連全国林野関連労働組合鳥取森林管理署分会です。

仕事内容は一言で言えば「国有林（林野庁が管理している山）の管理運営」です。

ご年配の方には「営林署」と言った方がご理解いただけるのではないのでしょうか。



仕事場所の国有林は、東部地域では氷ノ山、中部地域では三朝町の小鹿溪、西部地域では大山を管理しています。大山国有林では「ブナを守る会」による植林が行われており、連合鳥取との関わりもあります。

鳥取県下の組合員は1955（昭和30）年頃には1万人以上おり、当時は自治労に次ぐ人数がいましたが、現在は16人〔県下総職員数26人（管理職・再雇用含む）〕となっています。林業の衰退とともに減っていったところなのです。

2013（平成25）年に特別会計から一般会計に移行し、当局側から見れば「労働組合」ではなく「職員団体」になり、「労使協定」や「覚え書き締結」などが一切できなくなりました、労働組合のありがたさが身にしみているところです。

今後も少人数ながらみなさんと一緒に闘っていくつもりです。ともに頑張りましょう。



「産別リレー」は最終回となりました 一産別のみなさんのご協力に感謝しますー



湯原俊二

— りょくひ 緑肥の想い —

あけまして おめでとうございます

昨年はコロナ禍で大変な年でしたが、今年はみなさんにとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

さて、菅政権の内閣支持率が急落してきました。発足当初の60%台から僅か3か月で40%台になりました。日本学術会議の問題や安倍前総理の桜を見る会の問題など国民の疑問や疑念に対して、菅総理自身が自分の言葉でまともに説明せず、また、医療崩壊目前なのにGO TOキャンペーンをやるなどコロナ対応が間違っていたなど、菅政権と国民の感覚の大きなずれが原因ではないでしょうか。

間もなく通常国会が始まり、予算委員会で野党からの追求が強まれば、菅政権の内閣支持率は30%台になるかもしれません。そうなれば求心力ではなく遠心力が働き、東京オリンピック後まで菅政権は持たないかもしれません。

いずれにしても今年中に衆議院議員選挙があります。政治の在り方を変えるために引き続きのご支援をよろしく申し上げます。

QRコードからもつながります▶

湯原さんのホームページもご覧ください

湯原俊二

検索



雨の中の立立ち

湯原俊二「総がかり大作戦」

支援の輪を広げましょう



フーズ連合 大山乳業農業協同組合労働組合 「職場委員研修会」(2020.11.25)



電機連合鳥取地域協議会 「第1回代表者会議」(2020.11.27)



自治労日吉津村職員労働組合 「忘年会」(2020.12.3)

“ザ・議員”

尾崎 かおる

鳥取県議会議員

昨年はコロナで大変な年となり、それを乗り越えようとするみなさまのご努力に心より敬意を表します。

11月議会では「部活動における教員による車での送迎」を取り上げ、みなさまにはアンケート等ご協力いただき感謝いたします。

「練習試合等での生徒の移動は、公共交通機関が不便な鳥取では困難も多く、違反せざるを得ないこともある。一律に禁止しただけで、長年放置してきた教育委員会は反省すべき」と質問しました。

教育長は「大いに反省すべき点はあった」と答弁されました。

また、練習試合等の移動においても貸切バス補助を検討すること、規則改訂により教員の負担増や過度な部活動にならないよう求め、前向きな答弁が得られました。

今後もみなさまの力をお借りしつつ、働く人々にとって良い県政になる様努力していきたいと思っております。



大森 英一

伯耆町議会議員

9月定例会で「コロナ禍対策」について、町長に「町民の不安解消」と「町民(自助)の限界」について質問しました。予備調査段階でわかったことは、町村では「コロナ禍の生活実態を把握できる権限があまりにも少ない」ということです。そこで本番では、権限内でできること、情報の定点観測を提案しました。

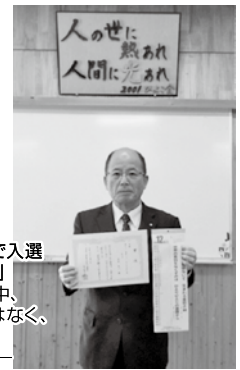
- ・ハローワークと連携し本町の失業率動向の把握
- ・要保護世帯数の動向
- ・納税状況
- ・コロナ対策事業の利用状況

傾向を掴むことで迅速な対応ができ、みなさんを限界まで追い詰めなくて済みます。

答弁は、「社会福祉協議会の貸付制度なども含め、注視したい」でしたので、期待が持てます。

あらゆるレベルで議員連携をさらに深めたいものです。

令和2年度伯耆町人権啓発標語 一般の部で入選
「仕方ない 関係ないで 生まれる差別の卵」
一部落差別は当事者の問題とする人が多い中、そうした人の心の中で部落差別ばかりではなく、あらゆる差別の芽がつけられ、やがて自分に返ってくるということを表現—



一人ひとり
意識を高く持
ち、ともに真価
を発揮しよう。

(補豆子)



年が明けても新型コロナウイルスの猛威が世界中を覆っている。労働組合として大切にしている直接の「顔合わせ」ができていない活動もありとても残念だ。▼けれど、活動は立ち止まってはいられない。「新しい生活様式」が社会的に求められており、工夫や知恵を出し合いながら前へ進んでいきたい。▼今年は、衆議院解散総選挙がある。コロナ禍での選挙となれば、難しい対応となるかもしれない。政治活動について人それぞれ思いはあるが、連合鳥取の一員としてできることはしっかりと行っていく。労働組合活動や政治に関して、無関心層をいかに関心持ってもらえるか。「投票に行っても世の中変わらない」と思っている人をどう動かすかについては、極めて重要な課題だ。▼「たかが一票、されど一票」その一票によって世の中が動くのだ。候補者の演説を聞くなど、様々な方法で政治参画することで、自分達の生活は、自ら行動すれば変わると感じてほしい。他にもポスター、ポスター貼りなどを体験することが、主権者教育にも繋がる。同時に労働活動にも通じるといふことだ。

とんがり豆

